

ヴァーサイン

Versine 360

マニュアルパン&チルトヘッド



品番:V4177-0001

Copyright © 2024

All rights reserved.

オリジナルの説明書: 英語

全世界で著作権法により保護されています。本書のいかなる部分も、Videndum Plc.の書面による事前の合意や許可なく、検索システムへの保存、送信、複製、または複製（コピー、写真、磁氣的またはその他の記録方法を含むが、これらに限定されない）を行うことは禁じられています。

免責事項

本書に記載された情報は、印刷時において正しいとみなされた内容です。Videndum Production Solutions Ltd.は、いかなる人物に対しても、その改訂や変更を通知する義務を負うことなく、情報または仕様を変更する権利を留保します。変更内容は、本書の新しいバージョンに組み込まれます。

当社では、説明書を定期的に更新し、製品の仕様や機能に対する変更を反映させるよう努めております。お使いの製品の主要機能に関する情報が本書に記載されていない場合は、当社までお知らせください。また、当社のウェブサイトから本書の最新改訂版を入手できる場合があります。

Videndum Production Solutions Ltd.は、通知なく製品の設計や機能を変更する権利を留保します。

商標

当社製品のすべての商標および登録商標は、Videndum Plc.の所有物です。

その他すべての商標および登録商標は、それぞれの企業の所有物です。

発行元:

Videndum Production Solutions Ltd.

Supports Technical Publications Department

メール: technical.publications@videndum.com

安全と警告	2
本書で使用されている警告マーク	2
安全衛生	2
本取扱説明書について	3
梱包内容	4
部品と接続	5
設置	6
Versineマルチスタンダードベース	6
クランプスタッドの取り外し	6
100mmベースへのアクセス	6
ヘッドの取り付け	7
カメラの取り付け	8
搭載機材の重量と重心高さの調整	9
搭載機材のバランス調整	10
Versine(ヴァーサイン)マウントアームの取り付け	12
操作	13
パン/チルトロックの操作	13
パン/チルトフルードドラッグ	13
保守	14
定期メンテナンス	14
電池の交換	14
パン/チルトロックレバーの調整	15
仕様	15
通知事項	16

製品の安全な設置および操作に関する重要な情報です。製品を操作する前に、この情報をよくお読みください。お客様の安全のために必要なことを記載してあります。安全な使用方法をご理解いただけない場合は、製品を操作しないでください。この説明書を保管し、必要に応じて参照してください。

本書で使用されている警告マーク

本書には、安全に関する注意事項が記載されています。人身事故や製品の損傷のリスクを避けるため、これらの安全指示に必ず従ってください。



警告！ けがの危険や他人に危害を加える危険がある場合は、この警告の三角マーク付きでコメントが表示されています。本製品、関連機器、工程、周囲にあるものなどを損傷する危険がある場合は、「**注意**」の文字が付いたコメントがあります。



警告！ 予期せぬ動作が発生する可能性があり、手や指が挟まれる危険があります。



注意 詳細については、取扱説明書を参照してください。

安全衛生



警告！ けがの危険や他人に危害を加える危険があります。すべての作業者は、正しいマニュアル操作技術について十分な訓練を受け、安全衛生規則を遵守しなければなりません。現地組織には、安全な作業方法を常に徹底させる責任があります。



製品および本書に記載されているすべての警告と指示に従ってください。本書には、安全に関する警告が記載されています。人身事故や製品の損傷のリスクを避けるため、これらの安全指示に必ず従ってください。



警告！ 本製品の重量とその搭載機材を支持できるように設計されていないブラケット、サポーター、その他の機器には、本製品を取り付けしないでください。すべてのサポーターは、地方自治体の規制に準拠していなければなりません。



警告！ 承認されていない部品やアクセサリーの取り付け、または承認されていない改造や修理を行うと危険であり、製品の安全性に影響を及ぼす可能性があります。また、製品保証の条件が無効になる場合もあります。



警告！ けがの危険や他人に危害を加える危険があります。すべての作業者は、十分な訓練を受け、安全衛生に関する現地の法律およびガイドラインを遵守しなければなりません。現地法人には、安全な作業方法を常に徹底させる責任があります。

取り付け、設置、操作



警告！ 指を挟む危険があります。プラットフォームとフルイー ドヘッド本体の間に指を入れないでください。



警告！ 三脚の脚を折りたたんだり伸ばしたりする際に、指を挟まないようにしてください。



警告！ ヘッドとその全搭載機材の合計重量を支持できないサポーターには、ヘッドを取り付けしないでください。



警告！ 転倒の危険があります。絶対に目を離さないでください。子供の手の届かない場所に置いてください。



警告！ 本製品は、常に固定する必要があります。



三脚を持ち上げて運んだり位置を変えたりする際は、ヘッドが三脚にしっかり固定されていることを確認してください。



注意！ カメラを取り付けたまま使用しない場合や、サポーター上でフルードヘッドを水平にする場合には、必ず垂直ブレーキと水平ブレーキをロックしてください。



注意！ フルードヘッドへの取り付けや取り外し、サポーターの高さや位置の調整を行う際は、カメラをしっかりと保持してください。



注意！ カウンターバランスやカメラの位置を調整する際は、必ずバンパーを握ってください。バンパーを使って三脚やフルードヘッドを持ち上げたり移動させたりしないでください。



注意！ バンパーにはカメラアクセサリのみを取り付けてください。バンパーに重いものを取り付けしないでください。



注意！ 運搬する際は、必ずカメラを取り外してください。



警告！ カメラや搭載機材を取り付けたり調整したりする前に、チルトロックスタッドを固定する必要があります。



警告！ 承認されていない部品やアクセサリの取り付け、または承認されていない改造や修理を行うと危険であり、製品の安全性に影響を及ぼす可能性があります。また、製品保証の条件が無効になる場合もあります。



注意！ 電池を交換する際は、本製品での使用が推奨されているものと同じ、または同等の電池のみを使用してください。

本取扱説明書について

このガイドでは、Versine 360フルードヘッドの設置、設定、操作について説明します。

Versine 360 は、大型ボックスレンズを使用しないカメラに最適化された、クラストップレベルのフルードヘッドです。カメラオペレーターは、異なるカメラ構成でもフレームを完全に制御することができます。小型のミラーレスカメラから大型の放送用システムカメラまで、レンズやアクセサリ（プロンブターやカウンターウェイト、大型レンズサポーター、外付けビューファインダー、ズームやフォーカス、追加のモニターやアクセサリなど）の組み合わせに関わらず、完全なバランスを実現します。

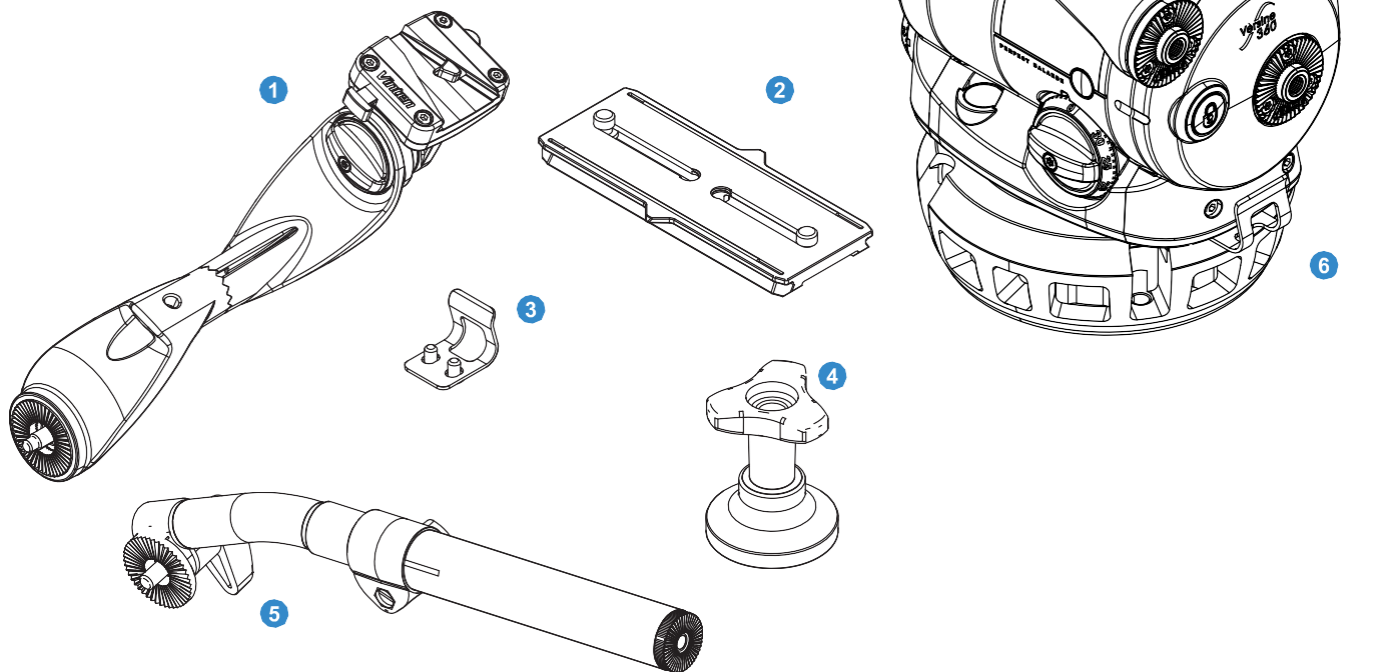
Versineのまったく新しいコンパクトな完全バランス機構と、世界をリードするTFドラッグシステムにより、世界的な熟練カメラオペレーターが関わるような特に要求の厳しいあらゆる天候や地形での屋外放送やスポーツ放送において、正確なフレーミングと高速トラッキングの両方を実現できます。非常に長いレンズを使用するうえに撮影時間が数時間に及ぶこともあるため、フレーミングしながらズームとフォーカスを同時に行うには完全なコントロールが必要です。つまり、Versine 360はスタジオでの撮影にも適しているということです。

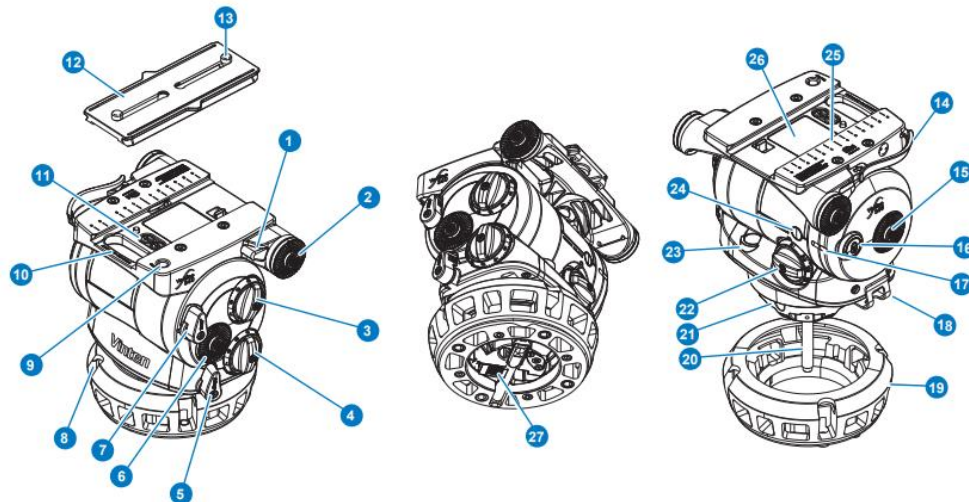
TFドラッグシステムは無段階調整を可能にし、バランスシステムとは独立して動作するため、パン/チルト軸の精密なバランス調整が可能となり、アクションを追うために必要な労力を大幅に軽減できます。

また、放送用のマルチスタンダードベース、堅牢なアクセサリマウント、照明付きコントロール、機械式のバランス&ドラッグダイヤルを搭載し、カメラのセットアップを簡単に繰り返し行うことができます。

梱包内容

- 1.....Versineマウントアーム
- 2.....40kgカメラプレート
- 3.....ケーブルサポートクリップ
- 4.....タイダウン
- 5.....パンパー
- 6.....フルードヘッド





- 1.....スライドプレートリリース
- 2.....バンパー菊座(左)
- 3.....チルトドラッグコントロール
- 4.....バンドラッグコントロール
- 5.....パンロックレバー
- 6.....ボディ菊座(左)
- 7.....チルトブレーキレバー
- 8.....取付ボルト観察穴
- 9.....ホイスト/テザーポイント
- 10.....キャリアハンドル
- 11.....追加カメラネジ
- 12.....カメラプレート
- 13.....カメラネジ

- 14.....スライドプレートクランプ
- 15.....ボディ菊座(右)
- 16.....センターロック
- 17.....センターロックアライメントマーク
- 18.....ケーブルサポート
- 19.....150mmボールマウント/Quickfix/フラットベース
- 20.....クランプスタッド
- 21.....100mmボールマウント
- 22.....カウンターバランスコントロール
- 23.....水準器
- 24.....照明ボタン(コントロールと水準器)
- 25.....重心目盛り
- 26.....シリアル番号
- 27.....クランプスタッドリリーススライド

Versineマルチスタンダードベース

Versine 360ヘッドには、100/150mmボールベース、フラットベース、Quickfix、標準の4穴マウントがすべて組み込まれています。

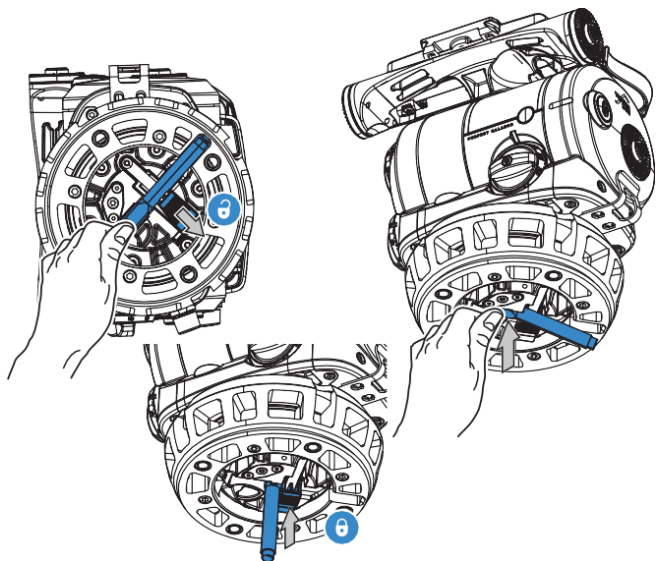
完全に組み立てた場合、オプションは150mmボール、Quickfix、標準の4穴マウントとなります。

クランプスタッドの取り外し

スタッドロックをヘッドの端に向かってスライドさせます。

スタッドの戻り止めを押してスタッドを取り出し、垂直位置まで移動させます。

ロックがロック位置に戻っていることを確認します。



100mmベースへのアクセス

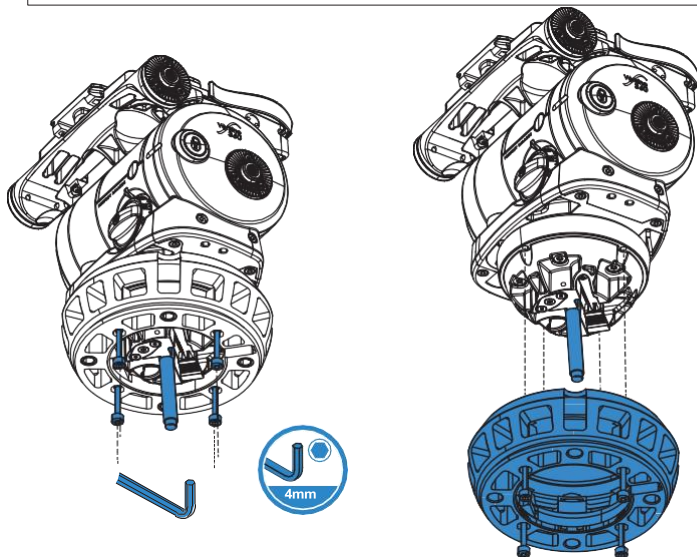
クランプスタッドが引き出されていることを確認します。

4mm六角レンチを使用し、150mmベースの底面から4本の固定六角ボルトを緩めます。

ベースを取り外し、100mmベースを露出させます。

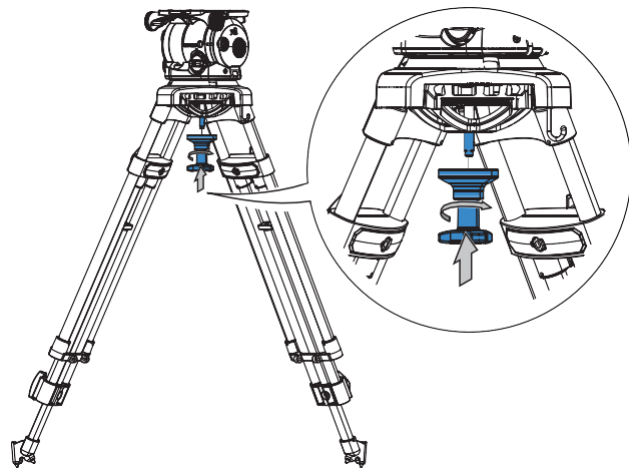


注！ 搭載機材の合計重量が25kgを超える場合、100mmベースの使用は推奨されません。



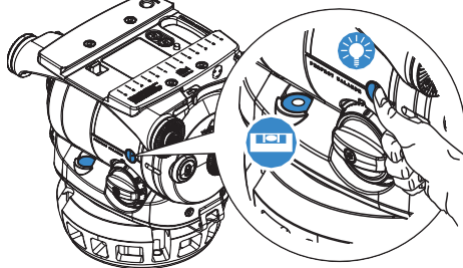
ヘッドの取り付け

ヘッドをボールマウントで取り付けるには、ヘッドからクランプスタッドを取り外し（6ページの「クランプスタッドの取り外し」を参照）、ヘッドを三脚の上に置いて、下からタイダウンを再び取り付けます。水準器を目安にヘッドを水平にし、タイダウンを締め付けます。



スイッチを押すと水準器が点灯し、約15秒後に消えます。

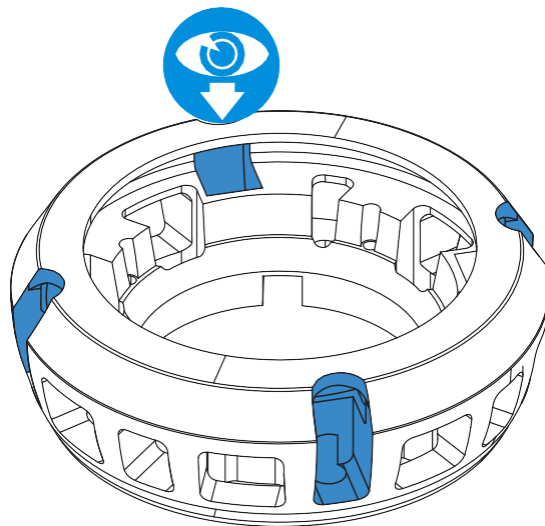
水準器とコントロールを点灯させるには、コントロールが点灯するまでボタンを長押しします。



フラットベースヘッドは、4本の取付ボルトとワッシャーを使用するか、「Quickfix」アダプターを使用して、三脚やベデスタルに設置できます。

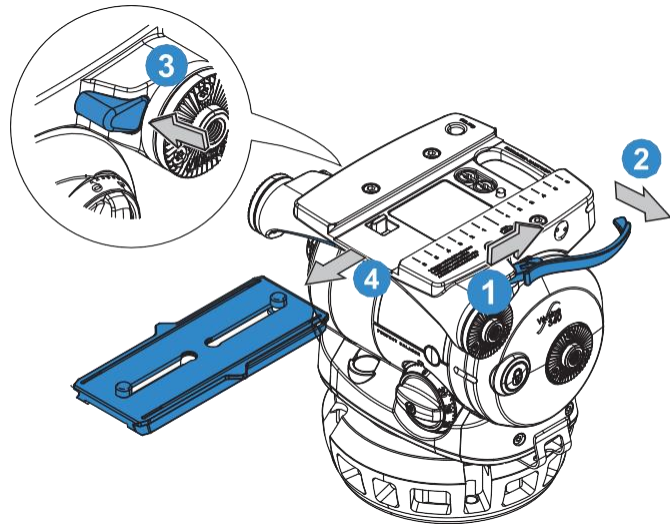
フラットベースを使用する前に、クランプスタッドを収納してください。

フラットベースには、ボルトの位置合わせを容易にするための「取付ボルト観察穴」があります（下図を参照）。

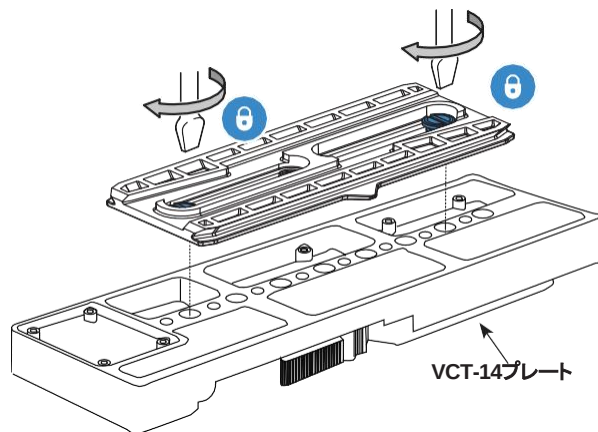


カメラの取り付け

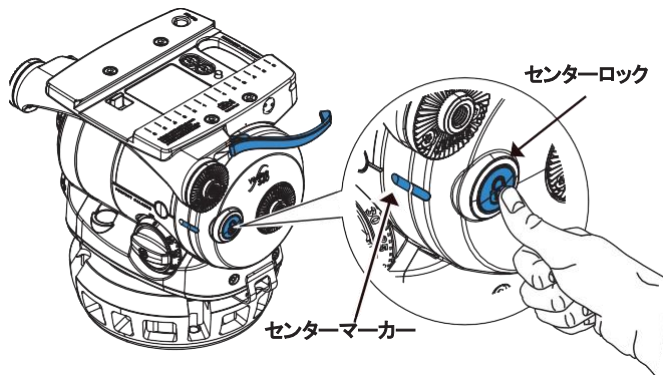
スライドプレートクランプを解除し、ヘッドからスライドプレートを取り外してください。クランプを前方に押し(1)、ヘッドから引き離します(2)。スライドロックリリース(3)を押し、プレートを後方に引きます(4)。



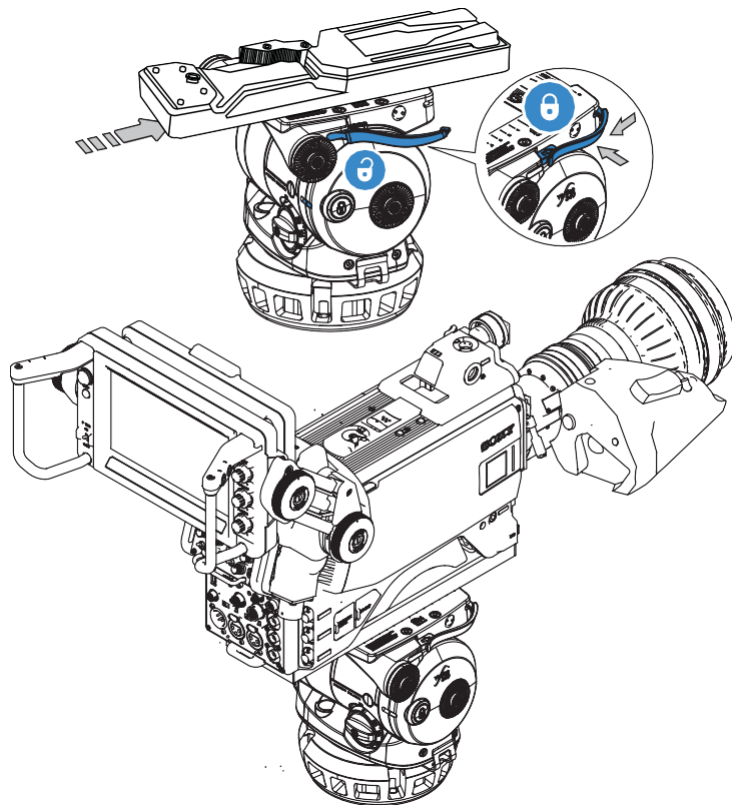
両方のカメラ取り付けネジを使用し、スライドプレートカメラまたはカメラ取り付けプレートに、カメラのおよその重心となる位置の下に取り付けます。ネジはできるだけ離れた位置にしてください。



下図に示すセンターマーカを見ながらプラットフォームを水平にし、センターロックをかけます。



スライドプレートクランプのレバーを解除します。スライドプレートとカメラ（またはVCT-14などのスライドプレートやカメラマウント）を後部からプラットフォームに押し込み、スライドロックリリースが固定されたことを確認します。
スライドプレートクランプをロック位置に移動させます。



搭載機材の重量と重心高さの調整



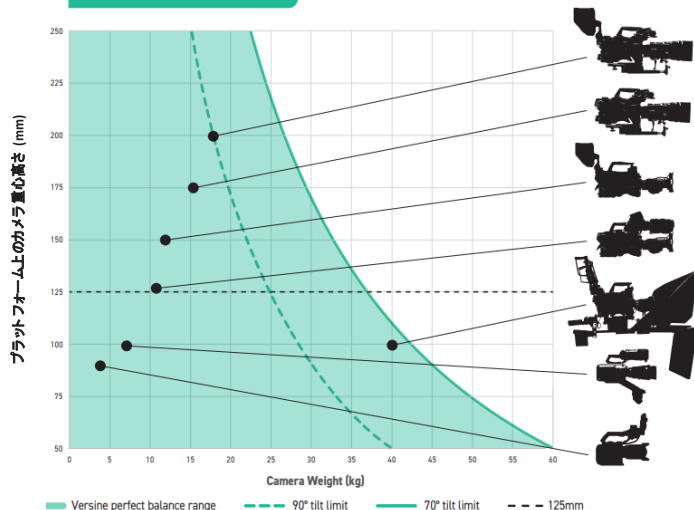
警告！ 全搭載機材の重量と重心高さがヘッドの設計範囲内であることを確認してください。



警告！ 安全で信頼性の高い操作を行うには、ヘッドと取り付けられた全ての機器のバランスが適切でなければなりません。

以下の図は、バランスを維持できる荷重と重心高さの範囲を示しています。バランス曲線の下領域（左側）が、全チルト範囲でバランスが取れる荷重/重心高さの組み合わせにあたります。バランス曲線の上領域（右側）は、ヘッドの能力を超える荷重/重心高さの組み合わせです。

バランス図 - Versine 360



搭載機材のバランス調整

搭載機材のバランスを調整する目的は、ヘッドを傾けた際に搭載機材にかかる重力の影響を軽減することです。動きはスムーズでありながら、搭載機材はチルト範囲全域でセットされた位置にとどまる必要があります。



警告！ 搭載機材の位置決めを行う際は、バランスを失った搭載機材が突然落下する危険性を認識することが重要です。バランスが正しくとれるまでは、常にハンドルをしっかりと握り、そのような事態に備えてください。



警告！ 搭載機材のバランス調整を行う際は、他の人の補助が必要になる場合があります。



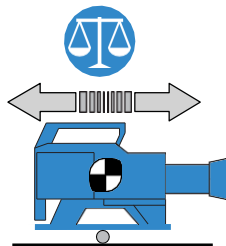
注意！ カメラやハンドル、すべてのアクセサリは、必ずヘッドのバランス調整を行う前に操作位置に取り付けてください。機器の取り付けや調整を後から行くと、ヘッドのバランスが崩れる可能性があります。

1. まず、重心のおおよその水平位置を推定します。



ヒント

カメラセットのおおよその中心を見つけるには、丸棒の上に置き、前後に移動させてバランスポイントを確認します。



取り付けた後にバランスが取れていない場合は、センターロックのクリアランスを利用します。ヘッドのバランスが取れているかどうかを判断するには、わずかに動かすだけで十分です。

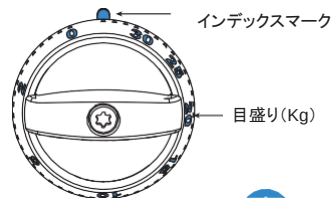
2. 水準器を使用してヘッドが水平になっていることを確認します。また、サイドプレートがクランプでしっかり固定されていることを確認します。

3. チルトロックがかかっていることを確認し、パンブレーキをかけ、チルトドラッグ調節ノブを「0」(最低値)にします。
4. 以下の早見表を参照し、一般的ないくつかのセットアップに対するおおよそのカウンターバランス設定を確認します。わからない場合は、カウンターバランスを最大に設定してください。

ライブシステムカメラとハンバー付きレンズコントロールの一般的なセットアップ例					
構成	20倍レンズ付きカメラ、単眼鏡	20倍レンズ付きカメラ、外付けビューファインダー	40倍レンズ付きカメラ、レンズサポーター、単眼鏡	40倍レンズ付きカメラ、レンズサポーター、外付けビューファインダー	20倍レンズ付きカメラ、外付けビューファインダー、テレプロンター、タレントモニター、カウンターウェイト
ダイヤル設定の目安	10	16	20	28	34
搭載機材の目安	10kg	13kg	15kg	19kg	40kg
重心高さの目安	125mm	150mm	175mm	200mm	100mm



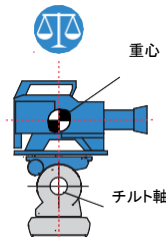
インデックスマーク上の目盛り=重心高さ125mm時の搭載機材の重量目安(kg)



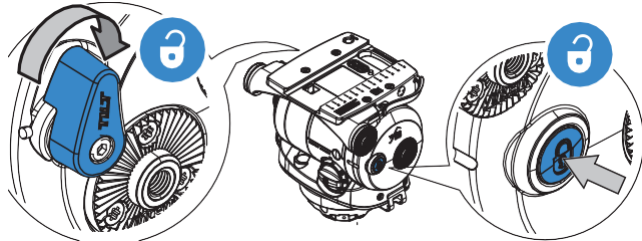
5. ヘッドの重心の上に搭載機材を取り付け、すべてのアクセサリが装着されていることを確認します。



重心が高い場合は、測定した重量よりも大きな数値を使用し、重心が低い場合は、低い数値を使用する必要があります。



6. パンパーを持ち、センターロックとチルトロックを解除します。ヘッドの仕様がカメラに適切である場合、最大カウンターバランスでは、前後両方のチルト時に抵抗があるはずですが（チルトしようとすると、カメラは水平に戻ろうとします）。



7. カウンターバランスを減らし始め、前後にチルトしながら、手を離れたときに搭載機材がどの位置でも保持され、それ以上の抵抗がない状態になるまで続けます（カウンターバランスを減らしすぎると、カメラが下がり始めます。その場合は、カウンターバランスを反対方向に回してください）。



注意！カウンターバランスノブは、必ず搭載機材が水平の状態
で調節してください。それ以外の角度で力を加えると、ヘッド
が損傷します。



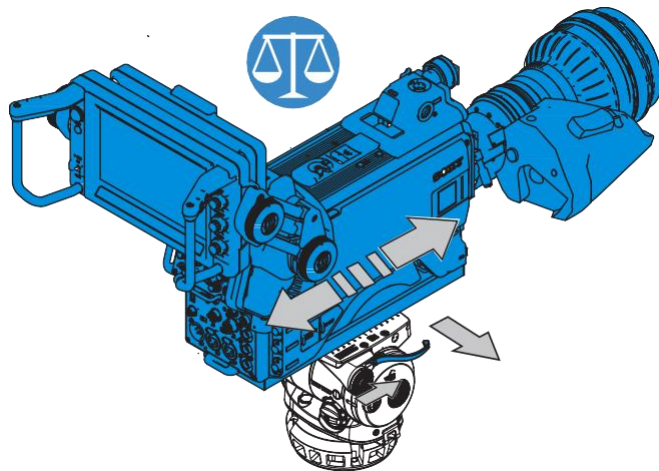
ヒント

搭載機材が軽い場合は、カウンターバランスを反時計回りに回します。搭載機材が重い場合は、カウンターバランスを時計回りに回します。バランス調整後、両方の軸でヘッドを動かし、スムーズに動作することを確認してください。

8. ステップ7でカメラの重心とヘッドのチルトアクセスとの位置合わせを完了するために、カメラのサイドプレートの微調整が必要となる場合があります。調整が完了すると、ヘッドを前後にチルトして離れた場合の動作が同じになります。



注意！調整後は、必ずサイドプレートを再度固定してからチルトしてください。



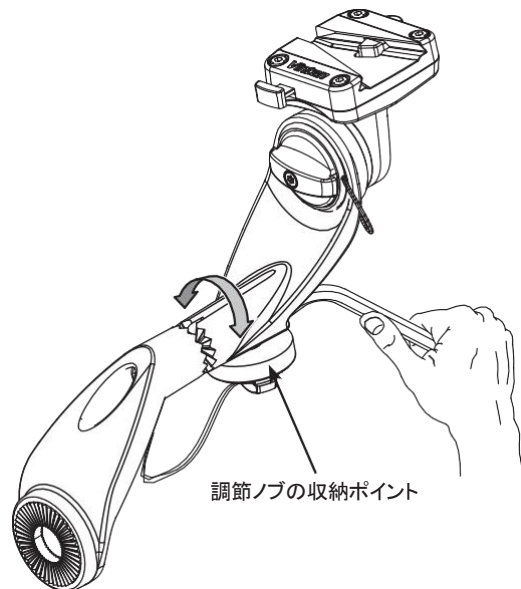
9. どの角度でパンパーを離しても、搭載機材は静止したまま（下がったりはね返ったりせずに）、完全なバランスが保たれます。
10. パンとチルト両方のドラッグを設定し、操作に必要なドラッグ感覚に調整します。

Versine(ヴァーサイン)マウントアームの取り付け

マウントアームは、どの菊座にも配置できます。ボディ菊座に配置すると、ビューファインダーやiPadなどのアタッチメントは、カメラをチルトしても水平を保ちます。上部の「パンパー」菊座に取り付けると、アタッチメントはカメラと一緒にチルトします。

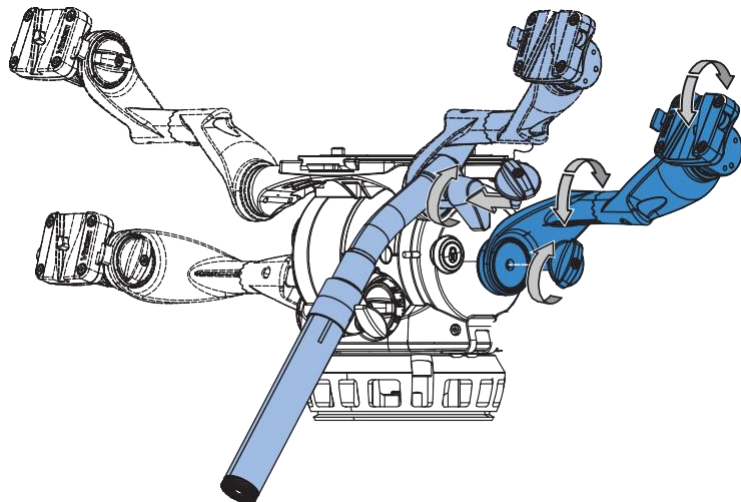
調節ノブは、パンパーを使用してアームを固定する際に紛失しないように、テザーに取り付けられています。

アームは中間部分でジョイントされ、調整しやすくなっています。六角レンチを使用して上部アームの六角ボルトを緩め、歯が噛み合わなくなるまで緩めたら、アームを調整して六角ボルトを締め付けます。



下の図は、マウントアームの4つの取り付け可能位置を示しています。

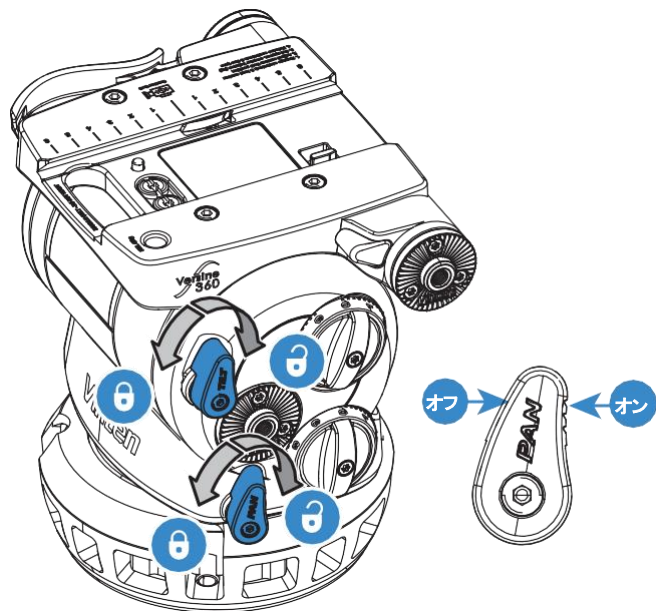
アームは、使用していないときに紛失しないようマウントアームにつながれたロックノブではなく、パンパーを使用して固定することもできます。



注意！ 取り付けたアクセサリやケーブルがヘッドの動きの妨げにならないか、使用前に必ずテストしてください。

パン/チルトロックの操作

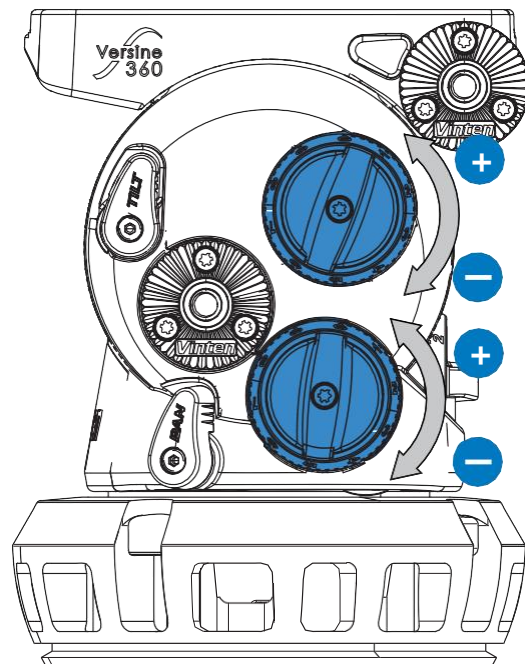
パンとチルトのフリクションロックは、ヘッドの左側にあるレバーで操作します。



長時間の使用後、ロックを倒し切っても完全にロックがかからない場合は、「ロックレバーの調整」を参照してください。

パン/チルトフルードラッグ

パンドラッグ調節ノブはヘッドの左下に、チルトドラッグ調節ノブはヘッドの左上にあります。両方のコントロールは、0から9まで連続的に調整できます。ドラッグを増やすにはノブを反時計回りに回し、ドラッグを減らすにはノブを時計回りに回します。



定期メンテナンス

バランス機構のデジタル表示用電池は、毎年交換してください。本製品の使用中は、以下の点を確認してください。

パンブレーキとチルトブレーキの効きを確認します。必要に応じてリセットします。15ページの「パン/チルトロックレバーの調整」を参照してください。

水準器の照明とドラッグノブの動作を確認します。必要に応じて電池を交換してください。

これ以上の定期メンテナンスは必要ありません。

クリーニング

屋内使用の場合、クリーニングは、糸くずの出ない布で定期的に拭く程度で十分です。保管中に蓄積した汚れは、中程度の硬さのブラシで落とすことができます。特に注意が必要なのは、水平ボール、ヘッドの取り付け面、チルトアセンブリとベースの間の空間です。

ヘッドは耐候性ですが、悪条件の屋外で使用する場合は、特別な注意が必要です。塩水がかかった場合は、できるだけ早く真水で洗い流します。砂やほこりは、中程度の硬さのブラシや掃除機で取り除いてください。

電池の交換

電池は、1年に1回、または照明が暗いと判断された場合に交換してください。

1. 4 x 4mm六角ネジを外し、上部プレートを取り外します。
2. 2 x 2.5mmボタンヘッド六角ネジを外してカバーを取り外し、CR2032 13.0V/230mAh電池を交換します。

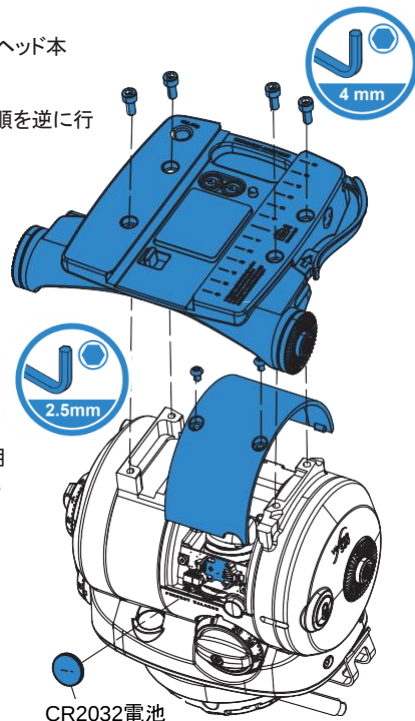
電池の極性は、プラス(+)がヘッド本体側を向きます。

3. 交換する際は、前述の手順を逆行行います。

※電池交換時にマイナスドライバ等を使用するとショートする恐れがありますのでご注意ください。

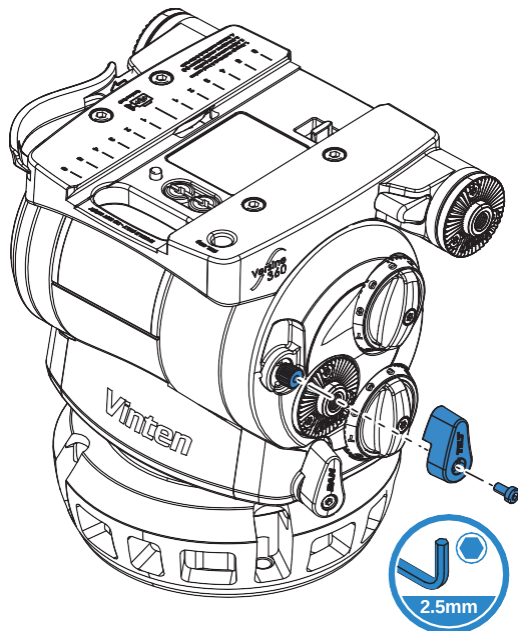


カバーを外す際は、照明操作ボタンを紛失しないようにご注意ください。



パン/チルトロックレバーの調整

1. ロックレバーを「ロック」位置まで回します。
2. ロックレバーは六角ネジで取り付けられているため、2.5mm六角レンチを使用してネジを外します。
3. ロックレバーをスプラインシャフトから引き出し、「ロック」終端位置から約20°離れた位置まで回転させてから、再度取り付けます。
4. ネジを元に戻して締め付けます。



技術データ

荷重範囲	0～40kg (バランス図を参照)
ベース	マルチスタンダード: フラット、Quickfix、 150mm / 100mmボール
カウンターバランス	無段階完全バランス
ドラッグ	TFドラッグ
ドラッグコントロール	照明付きコントロールノブ
重量	6.3kg
カメラ固定	サイドアクションロックレバー付きダブル スライドプレート
スライド範囲	115mm
チルト範囲	+90° / -90°
水準器	照明付き
センターロック	ベクタースタイル
菊座取り付けポイント	パンバー菊座 x2、ボディ菊座 x2

適合宣言



Videndum Production Solutions Ltd.は、本製品がBS EN ISO9001に従って製造されていることを宣言します。

Videndum Production Solutions Ltd.は、規制遵守の責任者として、本書に記載された製品が評価され、以下に適合していると判断されたことを、当社の単独の責任において宣言します。

Electromagnetic Compatibility (EMC) Directive 2014/30/EU

By application of the following harmonised standard(s):

EN55032:2015 Class A

EN55015:2013 + A1:2015

EN61547:2009

EN55035:2017

Machinery Directive 2006/42/EC

RoHS 2011/65/EU

適合宣言の写しは、ご要望に応じてお渡しすることが可能です。

環境への配慮

European Union Waste of Electrical and Electronic Equipment (WEEE) Directive (2012/19/EU)

This symbol marked on the product or its packaging indicates that this product must not be disposed of with general household waste. In some countries or European Community regions separate collection systems have been set up to handle the recycling of electrical and electronic waste products.



By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potentially negative consequences for the environment and human health. The recycling of materials helps conserve natural resources.

Visit our website for information on how to dispose of this product and its packaging.

EU以外の国々:

本製品は、お住まいの地域の規制に従い、電気・電子機器のリサイクル回収場所に廃棄してください。

廃棄電池の処分

本製品に付属しているすべての電池は、家庭用ゴミとして扱わないでください。これらの電池を正しく廃棄することで、環境や人体に悪影響を及ぼす可能性を防止し、天然資源の保護に役立ちます。

本製品から電池を安全に取り外す方法については、本取扱説明書の14ページ「電池の交換」をお読みください。廃棄電池は、リサイクルのために適切な回収場所に引き渡してください。



※本取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更になる場合がございます。

Rev.2.0 更新:2025年2月

お問い合わせ先:

ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-38
芝公園三丁目ビル1階
電話: 03-5777-8040 FAX: 03-5777-8041

大阪オフィス
〒531-0072 大阪市北区豊崎 5-2-13
電話: 06-6359-2440 FAX: 06-6359-2441



www.videndum-vps.jp/
www.vinten.com/

www.vinten.com